

経営比較分析表（令和4年度決算）

沖縄県 うるま市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	0.29	100.00	1,166

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
125,973	87.02	1,447.63
365	0.27	1,351.85

グラフ凡例

- 当該団体値 (当該値)
- 類似団体平均値 (平均値)
- 令和4年度全国平均

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①収益的収支比率(%)

該当数値なし

②累積欠損金比率(%)

該当数値なし

③流動比率(%)

該当数値なし

④企業債残高対事業規模比率(%) [809.19]

⑤経費回収率(%) [57.02]

⑥汚水処理原価(円) [273.68]

⑦施設利用率(%) [52.55]

⑧水洗化率(%) [87.30]

2. 老朽化の状況について

①有形固定資産減価償却率(%)

該当数値なし

②管渠老朽化率(%)

該当数値なし

③管渠改善率(%) [0.02]

全体総括

当該施設は、離島である津堅地区の農業生産と生活環境を守り、公共用水域の水質を保全するため整備されたが、経営的には離島という地理的条件に加え、老齢人口が多く、人口減少及び低い水洗化率の課題を抱えており、一般会計からの繰入金に大きく依存するなど、事業経営の採算性は大変厳しい状況にある。また、既存施設は、平成15年の供用開始から20年を経過しているため、ストックマネジメントの手法を導入し、既存施設の長寿命化を図り、施設機能の適正な維持、効率的な管理に努めなければならない。

維持管理については業務が類似する公共下水道と連携した運営に切り替え経費の節減に取り組んでおり、平成30年度策定の経営戦略の進捗管理を図り、経費の節減、接続促進に努め、市の津堅島振興への取り組みに注視しながら、一般会計からの繰入金を受けて、現行の事業経営を継続する必要がある。